

障害基礎医学
--------

《担当者名》 近藤 尚也 n-kondo@hoku-iryu-u.ac.jp 増田 悠佑 明野 聖子 鈴木 和 鈴木 真人

## 【概要】

障害の基礎的理解、障害の医学的側面の基礎的知識、連携と協働の獲得、家族への支援について、事例を交えながら概説する。障害の発生原因と医学的診断、障害特性とそれに応じた保健・医療・看護・介護の方法、障害者施設等における感染症対策や衣食住の生活環境について学ぶ。

## 【学修目標】

- 1 障害の医学的理解と健康特性に応じた保健・医療・看護・介護等について理解でき、支援のイメージ化につなげることができる。
- 2 障害者の保健・医療に関する制度・サービスと保健医療、福祉の連携について理解でき、支援のイメージ化につなげることができる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	障害の基礎的理解 障害に関する基礎知識	ICFに基づく障害の理解、障害者と障害保健医療の実態と課題について理解でき、支援のイメージを説明できる。	近藤
2	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解1 身体障害（肢体不自由、感覚器障害）	身体障害（肢体不自由、感覚器障害）の医学的・心理的理解を深め、生活支援のあり方を説明できる。	近藤
3	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解2 身体障害（内部障害）重症心身障害	身体障害（内部障害）、重症心身障害の医学的・心理的理解を深め、生活支援のあり方を説明できる。	近藤
4	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解3 知的障害、高次脳機能障害	知的障害、高次脳機能障害の概要を理解し、生活特性とケアのあり方を説明できる。	近藤
5	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解4 発達障害	発達障害の特性を理解し、障害に応じたケアのあり方を説明できる。	近藤
6	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解5 精神障害	精神障害の医学的・心理的理解を深め、生活支援のあり方を説明できる。	鈴木（和）
7	障害のある人の生活と障害の特性に応じた支援 保健医療とライフサイクル	障害者の保健医療福祉制度を活用した具体的な支援のイメージを持つことができる。高齢化社会の長寿化に伴う障害と認知症、現代社会における心の病と自殺について理解でき、各ライフステージから支援のイメージにつなげることができる。	近藤
8	連携と協働1 在宅看護	障害者・高齢者への訪問看護、訪問リハビリ、在宅介護の支援について理解でき、支援をイメージして言語化できる。	増田
9	連携と協働2 ヘルスプロモーション	地域で暮らす障害者・高齢者の地域ヘルスプロモーションについて理解でき、支援をイメージして言語化できる。	明野
10	連携と協働3 障害者施設と保健・医療・看護	感染症対策、施設における医療ケアの課題や看取り介護について理解でき、支援をイメージして言語化できる。	鈴木（真）
11	障害者と保健医療 障害者を取り巻く地域保健医療の現状と課題	地域保健医療の実態と課題、保健医療の地域格差と健康格差について理解でき、支援に結び付けて言語化できる。	鈴木（真）
12	連携と協働4 医学的リハビリテーション	障害と医学的リハビリテーションについて理解でき、連携した支援のイメージを言語化できる。	近藤

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
13	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解6 難病	難病の概要、難病と保健・医療、難病の看護の実態と課題、難病と健康特性の配慮、治療とQOLの保障について理解でき、支援のイメージを言語化できる。	近藤
14	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解7 慢性疾患	疾患の概要、保健・医療・看護の実態と課題、障害と健康特性の配慮、生命のQOLとターミナルケアにおける生命倫理について理解でき、支援のイメージを言語化できる。	近藤
15	家族への支援 障害者を取り巻く医療と福祉の連携	本人・家族への地域のサポート体制確立（構築）に向けた、保健・医療・福祉・教育・労働サービスの連携について説明できる。	近藤

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

定期試験（筆記試験）による評価（100%）

試験については原則学生に対し個別に振り返りを行う。

**【教科書】**

講義レジュメを配布

**【参考書】**

最新 介護福祉士養成講座14 障害の理解 第2版 中央法規 2021

最新 社会福祉士養成講座5 保健医療と福祉 中央法規 2021

**【備考】**

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「障害の理解」に該当する。また、教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「加齢に関する理解・障害に関する理解」に該当する。

「初級パラスポーツ指導員」の認定科目であり、資格取得には指定された授業を受講する必要がある。

**【学修の準備】**

授業の準備として、参考図書や参考資料の該当箇所を読み予習をしておくこと（2時間）。毎回の講義資料を参考に、その内容について読み返し復習を行うこと（2時間）。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

**【実務経験】**

明野 聖子（保健師）、増田 悠佑（看護師）、鈴木 和（精神保健福祉士・社会福祉士）、近藤 尚也（介護福祉士・社会福祉士）

**【実務経験を活かした教育内容】**

障害福祉機関での介護福祉士・社会福祉士や精神保健福祉士、医療機関での保健師、看護師としての実務経験に基づき障害の実際やそのケアのあり方について講義する。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している